

財務の概要（令和5年度）

部門：学校法人日本工業大学における令和5年度決算の概要は、次の通りです。

部門 法人 全体

決算の概要

(事業活動収支) 経常収支差額は△78百万円、基本金組入前当年度収支差額は△54百万円の赤字を計上しました。

(貸借対照表) 総資産が△849百万円減少する一方、総負債も△795百万円減少したため、純資産は差引54百万円の減少となりました。

1. 資金収支計算書

科目	令和5年度	令和4年度	増減
資 金 収 入	9,215 百万円	9,793 百万円	△ 578 百万円
※収入の部合計－前年度繰越支払資金			
資 金 支 出	9,198 百万円	9,177 百万円	20 百万円
※支出の部合計－翌年度繰越支払資金			

➡

資金収入は、授業料前受金を含む学納金の減少を主因に減少し、資金支出はほぼ前期並みの推移となりました。

(主な支出) 施設関係支出	
(大学)	
①建物：耐震補強工事	90 百万円
②建物：本館Web面談ブース設置工事	15 百万円
③建物：本館充電用コンセント設置工事	6 百万円
④構築物：高圧受電設備ケーブル更新工事	10 百万円
(中高)	
⑤校舎新築工事	73 百万円
ホームルーム教室他改修工事（床張替）	21 百万円

(主な支出) 設備関係支出	
(大学)	
①教機備：偏光ハイスピードカメラ他	12 百万円
②教機備：200t万能試験機	12 百万円
③教機備：スパッタ装置	11 百万円
④教機備：ロボドリル	10 百万円
(中高)	
ホームルーム 映像システム一式（6室）	7 百万円
印刷機（オフィス・フィニッシャー付）	4 百万円

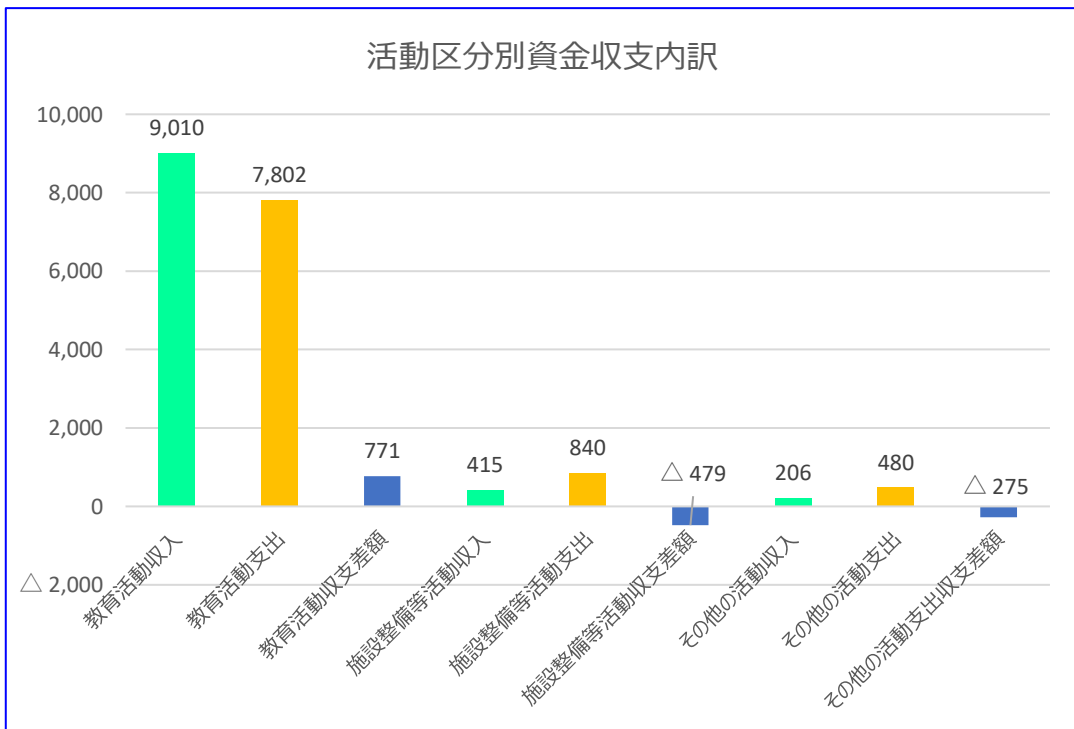
2. 活動区分資金収支計算書

【活動区分資金収支計算書】

資金収支計算書の決算額を、「①教育活動」「②施設整備等活動」「③その他の活動」の三つの活動区分ごとに区分し、活動区分ごとの資金の流れを明らかにします。

※活動区分資金収支計算書は、制度的には法人全体の決算値のみが必要とされるものですが、各部門の決算額の積み上げが基礎となるため、部門における活動状況を明示いたします。

活動区分	収入計		支出計	
教育活動	9,010	94%	7,802	86%
施設整備等活動	415	4%	840	9%
その他の活動	206	2%	480	5%
収支計	9,630	100%	9,122	100%



- 収支状況
教育活動の収入は全体の94%に対し支出は86%となり、教育活動収支差額は調整勘定も含めて771百万円のプラスとなりました。一方、施設整備等活動収支は△479百万円のマイナス、その他の活動による収支も借入金等返済に伴い△275百万円のマイナスとなりました。
- 補足説明
学生生徒等納付金収入・人件費・教育研究経費・管理経費はすべて「教育活動」に計上されています。
- 寄付金・補助金のうち、施設整備等に係るものについては「施設整備等活動」に計上され、その他の寄付金・補助金は「教育活動」に計上されています。
- 「その他の活動」には財務活動のほか、預かり金の受払い等の経過的な活動に係る収支が計上されています。
- 繰越支払資金の増減
翌年度繰越支払資金は、17百万円増加し

資金収支計算書

科目	金額	科目	金額
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	6,796	人 件 費 支 出	4,637
手 数 料 収 入	110	教 育 研 究 経 費 支 出	2,336
寄 付 金 収 入	91	管 理 経 費 支 出	829
補 助 金 収 入	1,593	借 入 金 等 利 息 支 出	26
資 産 売 却 収 入	0	借 入 金 等 返 済 支 出	340
付 随 事 業 収 入	175	施 設 関 係 支 出	284
受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	123	設 備 関 係 支 出	175
雑 収 入	297	3% 資 産 運 用 支 出	449
借 入 金 等 収 入	0	0% そ の 他 の 支 出	405
前 受 金 収 入	2,134	23%〔 予 備 費 〕	0
そ の 他 の 収 入	533	6%	
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 2,637	-29% 資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 283
		0%	
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	6,825	翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	6,843
収入の部合計	16,040	支出の部合計	16,040
資金収入(収入の部合計－前年度繰越支払資金)	9,215	74% 資金支出(支出の部合計－翌年度繰越支払資金)	9,198

活動区分資金収支計算書

科目			金額	科目			金額
教育活動による資金収支	収入	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	6,796	その他の活動による資金収支	収入	借 入 金 等 収 入	0
		手 数 料 収 入	110			退職給与引当特定資産取崩収入	34
		特 別 寄 付 金 収 入	76			長 期 貸 付 金 回 収 収 入	2
		一 般 寄 付 金 収 入	0			預 り 金 受 入 収 入	8
		経 常 費 等 補 助 金 収 入	1,593			立 替 金 回 収 収 入	0
		付 随 事 業 収 入	175			仮 払 金 回 収 収 入	0
		雑 収 入	261			仮 受 金 受 入 収 入	0
		教育活動資金収入計①	9,010			差 入 保 証 金 回 収 収 入	0
	支出	人 件 費 支 出	4,637		(小 計)	46	
		教 育 研 究 経 費 支 出	2,336		受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	123	
		管 理 経 費 支 出	829		雑 収 入	37	
		教育活動資金支出計②	7,802		その他の活動資金収入計⑫	206	
差引③＝①－②			1,208	その他の活動による資金収支	支出	借 入 金 等 返 済 支 出	340
調整勘定等④			△ 437			第3号基本金引当特定資産繰入支出	65
教育活動資金収支差額⑤＝③＋④			771			退職給与引当特定資産繰入支出	3
						育英基金引当特定資産繰入支出	0
科目			金額			価格変動引当特定資産繰入支出	0
施設整備等活動による資金収支	収入	施 設 設 備 寄 付 金 収 入	15			長 期 貸 付 金 支 払 支 出	0
		施 設 設 備 補 助 金 収 入	0			預 り 金 支 払 支 出	45
		第2号基本金引当特定資産取崩収入	99			立 替 金 支 払 支 出	0
		設備引当特定資産取崩収入	300			仮 払 金 支 払 支 出	0
		施 設 設 備 売 却 収 入	0			仮 受 金 支 払 支 出	0
		施設整備等活動資金収入計⑥	415			差 入 保 証 金 支 払 支 出	0
		支出	施 設 関 係 支 出			284	(小 計)
	設 備 関 係 支 出		175	借 入 金 等 利 息 支 出	26		
	第2号基本金引当資産繰入支出		200	その他の活動資金支出計⑬	480		
	施設引当特定資産繰入支出		129	差引⑭＝⑫－⑬	△ 275		
	設備引当特定資産繰入支出		52	調整勘定等⑮	0		
	施設整備等活動資金支出計⑦			840	その他の活動資金収支差額⑯＝⑭＋⑮		
差引⑧＝⑥－⑦			△ 425	支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）⑰＝⑪＋⑯			17
調整勘定等⑨			△ 54	前年度繰越支払資金⑱			6,825
施設整備等活動資金収支差額⑩＝⑧＋⑨			△ 479	翌年度繰越支払資金⑲＝⑰＋⑱			6,843
小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額)⑪＝⑤＋⑩			292	繰越支払資金増減⑳＝⑲－⑱			17

kyou

【資金収支計算書】

当該会計年度(4月1日～3月31日)に行った諸活動に対応するすべての収入と支出の内容と、当該年度に係る支払資金の収入と支出の顛末を明らかにする計算書です。

【当期決算の概要】

2% ●資金収入は、学納金収入が全体で増加（+95百万円）したものの、受験者・入学者の減少によって手数料収入と前受金収入がそれぞれ減少し、補助金も減少したため、全体で578百万円減少しました。

-3% ●資金支出は、人件費支出、教育研究費支出及び管理経費支出がそれぞれ増加したが、施設・設備関係支出が減少したため、全体で20百万円の増加に留まりました。

財務の概要（令和5年度）

部門 法人全体

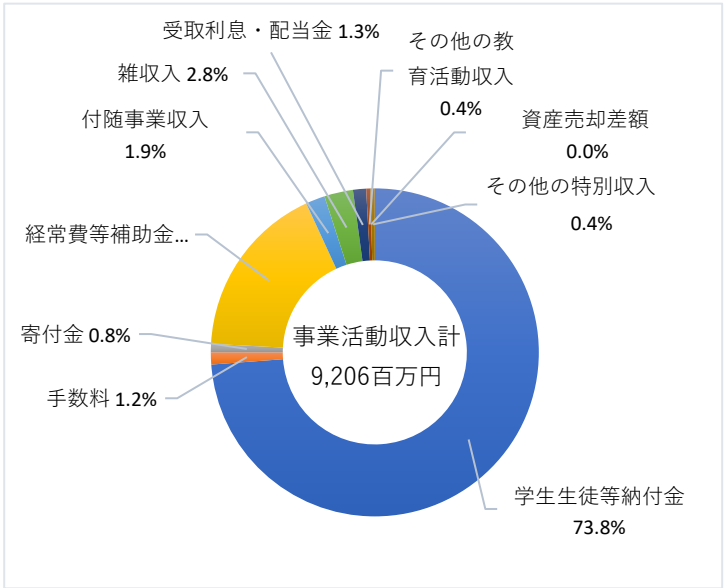
3. 事業活動収支計算書

科目	令和5年度	令和4年度	増減
基本金組入前当年度収支差額	△ 54 百万円	36 百万円	△ 90 百万円
事業活動支出	9,260 百万円	9,049 百万円	211 百万円
ネット基本金組入額	△ 553 百万円	△ 181 百万円	△ 372 百万円

基本金組入前当年度収支差額は90百万円悪化して△54百万円の赤字となり、基本金の組入れを加味した翌年度繰越収支差額は△607百万円悪化しました。

【 事業活動収入の部 】

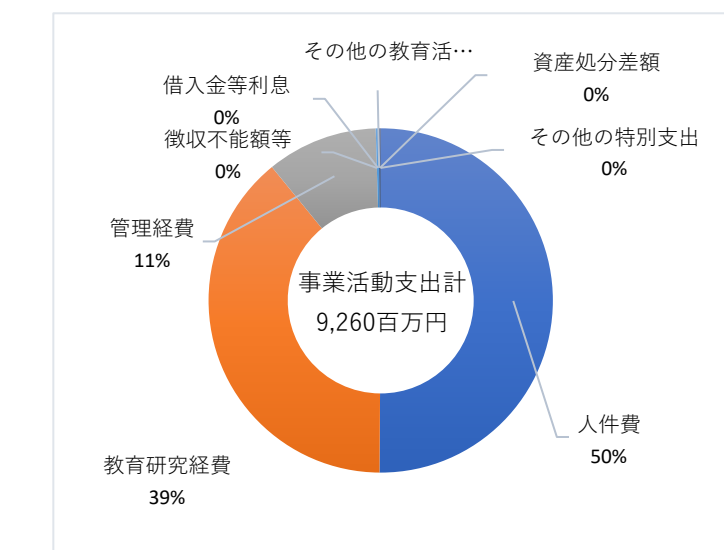
9,206 百万円



学生生徒等納付金	授業料、入学金、施設設備拡充費、実験研究費など
手数料	入学検定料、証明手数料など
寄付金	育英・研究奨励寄付金など
経常費等補助金	経常費、研究設備補助金など
付随事業収入	受託事業、補助活動、公開講座収入など
雑収入	退職金財団交付金、その他雑収入
受取利息・配当金	預貯金・有価証券の運用利息など
その他の教育活動収入	法人負担金収入が該当しますが、学校法人全体では相殺されるため計上されません
資産売却差額	資産売却の際の帳簿価額との差額
その他の特別収入	施設・設備に関する補助金・寄付金等

【 事業活動支出の部 】

9,260 百万円

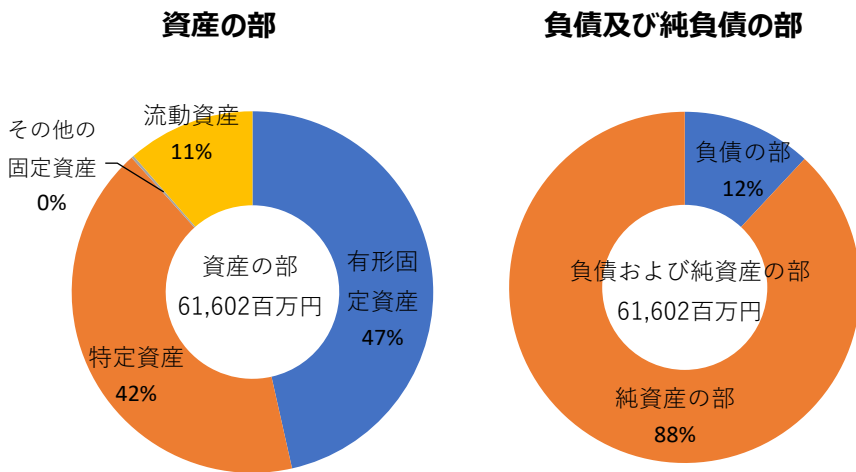


人件費	教員人件費、職員人件費など
教育研究経費	教育研究活動に直接支出される、教育環境の維持費用など
管理経費	学生生徒等募集経費、その他管理部門の経費
徴収不能額等	未収入金等が徴収不能になったときの損失あるいはその見込み額
借入金等利息	借入金返済時の支払利息
その他の教育活動外支出	法人負担金支出が該当しますが、学校法人全体では相殺されるため計上されません
資産処分差額	施設、設備等の除却損など
その他の特別支出	災害損失等の特別の損失

4. 貸借対照表

科目	令和5年度
総資産	61,602 百万円
前年度増減	△ 849 百万円
総負債	7,359 百万円
前年度増減	△ 795 百万円
純資産	54,243 百万円
前年度増減	△ 54 百万円
基本金	60,268 百万円
前年度増減	553 百万円
繰越収支差額	△ 6,025 百万円
前年度増減	△ 607 百万円

純資産は前年度比△54百万円減少し、繰越収支差額も△607百万円悪化しました。



事業活動収支計算書

科目	金額
収入	
学生生徒等納付金	6,796
手数料	110
寄付金	76
経常費等補助金	1,593
付随事業収入	175
雑収入	261
教育活動収入計①	9,010
支出	
人件費	4,640
教育研究経費	3,611
管理経費	965
徴収不能額等	0
教育活動支出計②	9,217
教育活動収支差額	① △ 207
収入	
受取利息・配当金	119
その他の教育活動外収入	37
教育活動収入計③	155
借入金等利息	26
その他の教育活動支外出	0
教育活動外支出計④	26
教育活動外収支差額	② 129
経常収支差額	③ △ 78

科目	金額
収入	
資産売却差額	0
その他の特別収入	41
特別収入計⑤	41
支出	
資産処分差額	17
その他の特別支出	0
特別支出計⑥	17
特別収支差額	④ 24
〔予備費〕⑦	0
基本金組入前当年度収支差額	⑤ △ 54
基本金組入額合計	△ 553
当年度収支差額	① △ 607
前年度繰越収支差額	△ 5,418
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△ 6,025
事業活動収入計	9,206
事業活動支出計	9,260
経常収入 (①+③)	9,165
経常支出 (②+④)	9,243

【事業活動収支計算書】
当該年度の活動における事業活動収入及び事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにし、経営状況を表します。企業会計の損益計算書の目的に類似した計算書です。
【当期決算の概要】
（教育活動収支の部）
収入面では、学納金が95百万円の増加しましたが、経常費等補助金が△36百万円減少し、支出面で人件費が259百万円増加したため、△207百万円の赤字となりました。
（教育活動外収支・特別収支の部）
教育活動外収支には、金融資産及び借入金の受取・支払い利息や配当金の他、外貨建債券の為替償還差益（37百万円）を計上しています。また特別収支には、施設関係の寄附や補助金、除却した資産の処分差損額等を計上しています。
（翌年度繰越収支差額）
基本金組入前当年度収支差額は△54百万円の赤字、△553百万円の基本金組入額を加味した翌年度繰越収支差額は△607百万円悪化し、△6,025百万円となりました。

主な用語解説

教育活動収支	経常的な収支のうち、「教育活動外収支」以外のもの
教育活動外収支	経常的な収支のうち、財務活動（資金調達・資金運用）及び収益事業に係る活動によるもの
特別収支	特殊な要因によって一時的に発生した臨時的なもの（資産売却差額・資産処分差額・施設設備寄付金・施設設備補助金・過年度修正額など）
①教育活動収支差額	経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支状況を表すもの
②教育活動外収支差額	経常的な収支のうち、財務活動による収支状況を表すもの
③経常収支差額	経常的な収支均衡状況を表すもの。
④特別収支差額	特殊な要因により、一時的に発生した臨時的な事業活動収支及び「教育活動及び教育活動以外の経常的な活動以外の活動」に係る事業活動収支を表すもの。
⑤基本金組入前当年度収支差額	従来の帰属収支差額。毎年度の収支均衡状況を表すもの。基本金組入額を控除する前の全ての事業活動収入と事業活動支出の収支状況
⑥当年度収支差額	従来の消費収支差額。長期の収支均衡状況を表すもの。基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した当該会計年度の収支状況

貸借対照表

資産の部	金額
固定資産	54,566
有形固定資産	28,634
土地	4,998
建物	19,746
構築物	1,040
機器備品等	1,240
図書	1,583
建設仮勘定他	27
特定資産	25,787
その他の固定資産	145
流動資産	7,037
現金預金	6,843
その他	194
資産の部合計	61,602

負債の部・純資産の部	金額
固定負債	4,483
長期借入金	3,304
長期未払金	2
退職給与引当金	1,176
流動負債	2,876
短期借入金	339
前受金	2,134
その他	403
負債の部合計	7,359
基本金	60,268
繰越収支差額	△ 6,025
純資産の部合計	54,243
負債及純資産の部合計	61,602

【貸借対照表】
年度末における資産・負債・正味財産（基本金、繰越収支差額）を把握し、財政状態（運用形態と調達源泉）を表します。貸借対照表は、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。
【当期決算の概要】
●資産の部では、有形固定資産が減価償却の進捗等によって△940百万円減少し、特定資産は10百万円増加しました。また、流動資産のうち現金・預金が17百万円増加しました。
●負債の部では、借入金の返済によって長期・短期の借入金が△339百万円減少しました。
●第1号から第4号までの基本金全体の残高は553百万円増加しました。
●繰越収支差額は△607百万円悪化して△6,025百万円となり、純資産額は△54百万円減少して54,243百万円となりました。